

日本一なるか

サーフタウン日向、PR動画

ファイナリスト候補作品に

第8回観光大賞

日本一の観光PR動画を選ぶ「第8回観光映像大賞」の中間賞に当たる2018年度「第3期旅もじゃ賞」の10作品が4日に発表され、サーフスポットの魅力を伝える日向市のPR動画「ビュー!日向でおじさんサーフィンデビュー」(THEREBE OJISAN RELAX IN HYUGA IN HYUGA)が選ばれた。第1、2期の受賞作品を含む30作品からファイナリスト10作品が選ばれ、5月29日に大賞が発表される。

観光映像大賞は、平成24(2012)年から毎年実施されており、全国各地で制作された観光PR動画のうち、創造性や話題性が特に優れた作品を選んでいる。最優秀作品の大賞には観光庁長官賞が贈られる。

第3期旅もじゃ賞は、今年1月1日から5月28日の応募作200点から選ばれた。10作品に残ったのは、九州では同市と鹿児島市のみ。

日向市の動画は、一昨年12月に始動したプロジェクト「リラックス・サーフタウン日向」の第3弾。関東で働く見ず知らずの男性会社員3人が、日向市でサーフィンに挑戦するストーリー。都会での生活をしばし忘れ、日向の食や豊かな自然、地元の人たちとの触れ合いを通して心も体もリフレッシュしていく内容。選定理由として「

松葉藤吉社長は、「リラックス・サーフタウン日向」プロジェクトのPR動画「ビュー!日向でおじさんサーフィンデビュー」(THEREBE OJISAN RELAX IN HYUGA IN HYUGA)が選ばれた。第1、2期の受賞作品を含む30作品からファイナリスト10作品が選ばれ、5月29日に大賞が発表される。

「サーフデビュー旅行ツアーを企画」(http://www.ta-bimola.com/10376/)で公開されている。

松葉藤吉社長は、「リラックス・サーフタウン日向」プロジェクトのPR動画「ビュー!日向でおじさんサーフィンデビュー」(THEREBE OJISAN RELAX IN HYUGA IN HYUGA)が選ばれた。第1、2期の受賞作品を含む30作品からファイナリスト10作品が選ばれ、5月29日に大賞が発表される。



観光作家大賞のファイナリスト候補作品として選定された日向市のPR動画

日向市長杯サーフィン

7日、お倉ヶ浜海岸 10クラスで王座争う

第12回日向市長杯のサーフィン大会が7日、お倉ヶ浜海岸で開かれた。

小学生以下のキッズクラスから40歳以上のマスタークラスまで計6クラスのショートボードほか、ロングボード(クラッシュ)、ボディボード(1クラス)、スタンドアップパドル(同)でそれぞれ王座を争う。17歳以上のベテランまで約180人。九州各地を中心に東京、神奈川、山梨、など遠方からの参加もあり、また、初の試みとして、

午後6時開場、同6時30分からの開会式後、同6時45分から競技開始。出場者は6歳児から70歳のベテランまで約180人。九州各地を中心に東京、神奈川、山梨、など遠方からの参加もあり、また、初の試みとして、

出場選手は夕食に4人1チームによるパドルレースを行う。会場ではバンド演奏やキッズダンス、フラダンス、ベリータンスなどのステージイベントをはじめ、飲食物や雑貨、アクセサリーなどを販売する「NORINORMAL」のコーナーを特設。ベリータンスの無料体験教室や子ども向けのホルダリング体験(無料)大会Tシャツによる藍染め体験(有料)、パラリンピック公式競技「ボッチャ」のデモンストレーションや体験などもあり、サーフィンを知りたい人も楽しめる。

問い合わせは、日向市観光協会(当日向55・0235)内の同実行委員会事務局。

2019.4.5

みやぎさくらマス 水揚げ

みやぎよう宮野浦 8日に土々呂 延岡

宮崎大学が試験研究を成を自指す「みやぎさくらマス」の出荷が5日、進め、ブランド魚への育「クニマス」の通じて宮崎市内のホ



みやぎさくらマスの水揚げ作業(きよう延岡市北浦町の宮野浦港)

テルやレストランに提供されるほか、切り身や缶詰めなどに加工される。

みやぎさくらマスは五ヶ瀬町鞍岡の清流で育ったヤマメを延岡市の海で養殖して巨大化させたもので、同大学の内田勝久教授が平成25年から研究を開始。今シーズンの海面養殖は昨年12月から、延岡市の土々呂港と同市北浦町の宮野浦港近くのいけすで行った。5日は宮野浦港で水揚げがあり、内田教授や漁

業者、みやぎさくらマスのベンチャー企業を立ち上げる上野賢さんらが一匹ずつすくい上げ、成長具合を確認しながら選別。この日は約660匹を水揚げ。当初は80年前後だったヤマメは、大きいもので1kg近くまで成長していた。

約400匹は卸業者やレストランなどで使われる。また、宮崎海洋高校

と業者とコラボレーションした仕詰めの開発にも取り組むという。残りは優良系統育成のために使われる。